The background features a watercolor-style wash in shades of blue, teal, and purple, with a large white circle in the center. The text is centered within this circle.

札幌旭丘高校 1年進路講演会

ベネッセコーポレーション
北海道支社 江原大志

北大	: 64%~84%
小樽商大	: 86%
教育大札幌校	: 46~77%
千歳科技大	: 64%
札幌市立大・看護	: 63%
室蘭工大	: 65%

①共通テストの合格平均得点率

②配点における国数英の割合

③道内合格者割合

④7月模試B判定の合格率

北大 : 64%~84%

小樽商大 : 86%

教育大 **入試配点における** %

千歳科 **国数英の割合**

札幌市立大・看護 : 63%

室蘭工大 : 65%

部活引退した後でも
間に合うって先輩が言ってた。。。



3年生は
みんな伸びる



伸び

人



伸び

人

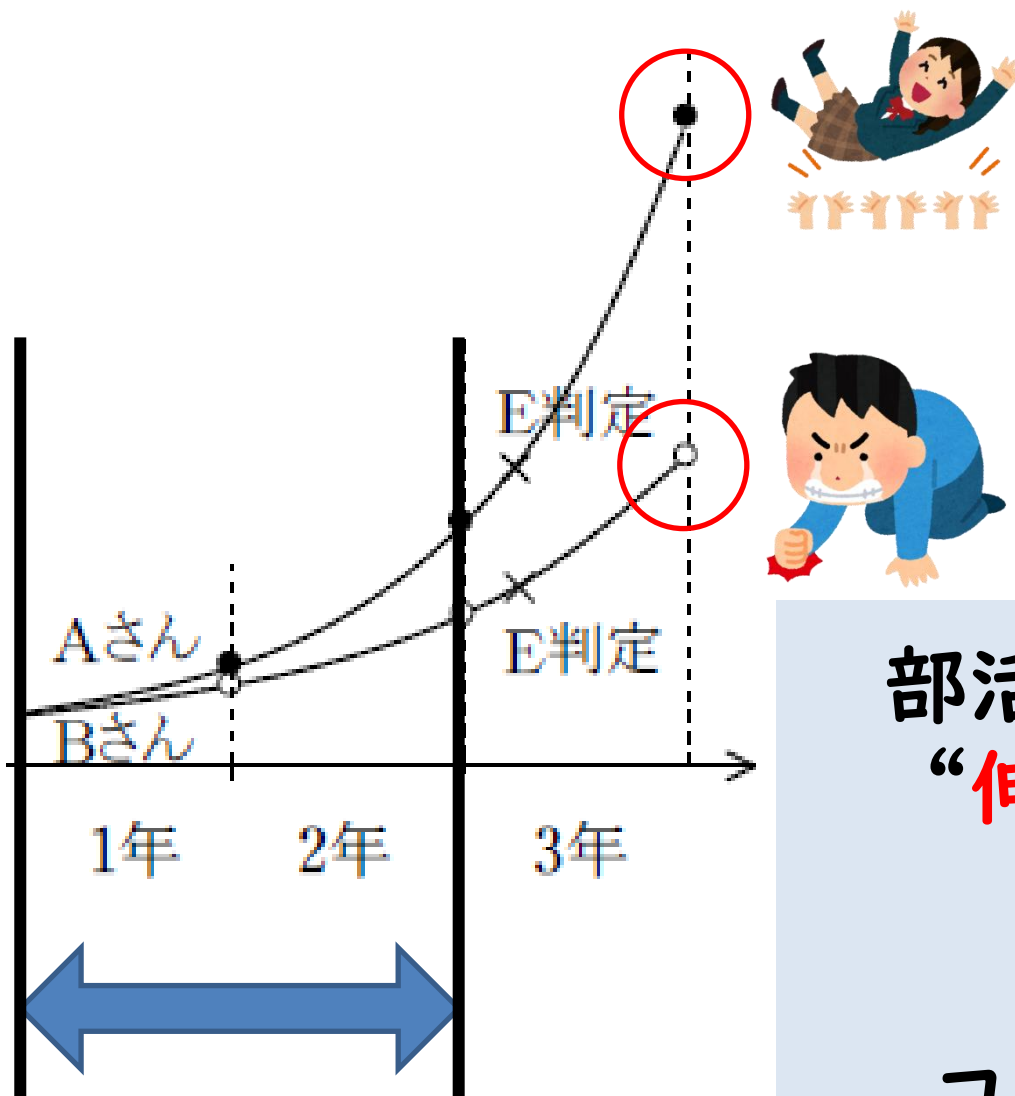


伸びきれる人



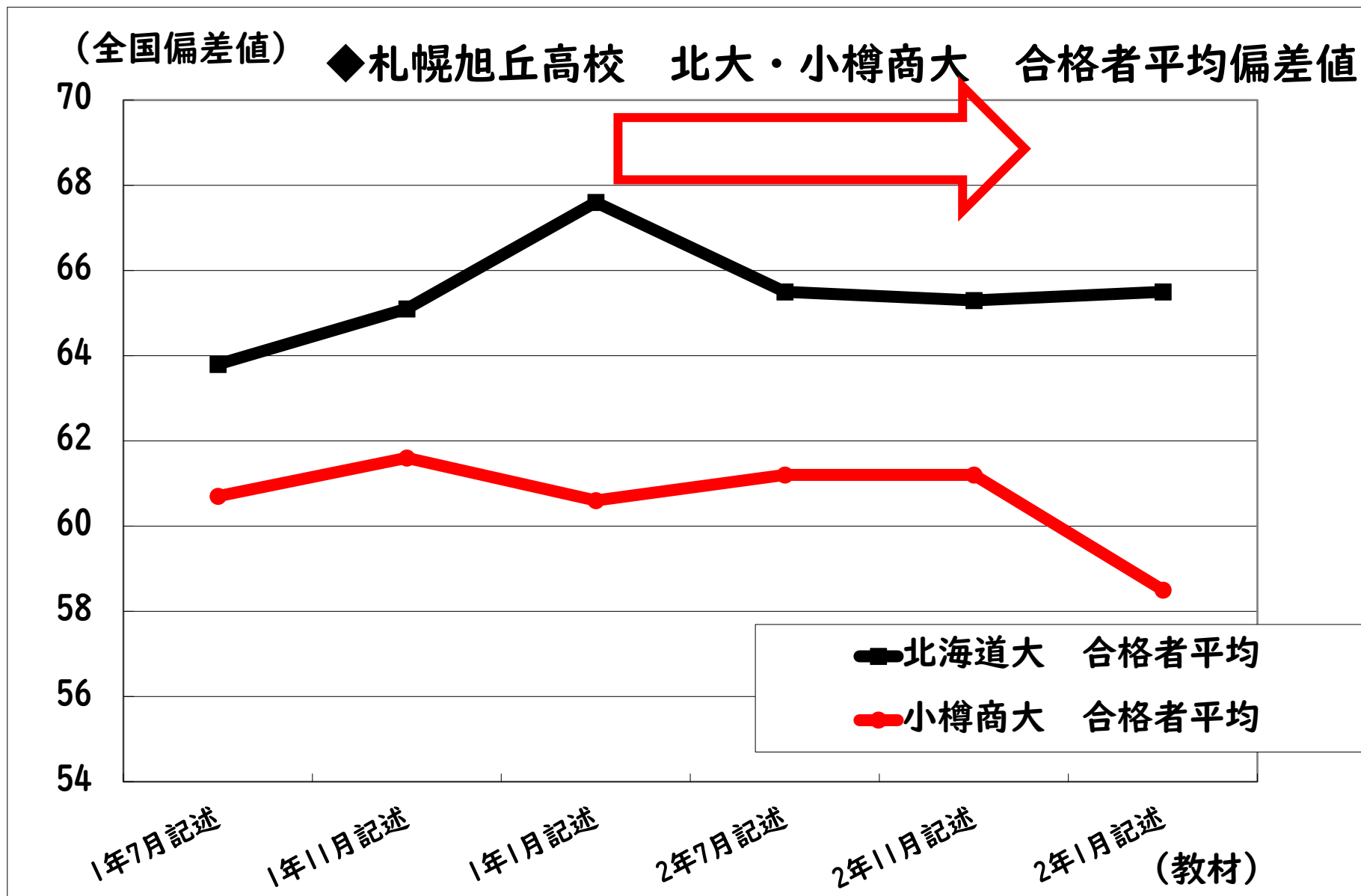
伸びきれない人





部活が終わってから
“**伸びきれる**”人は

1, 2年生で
コツコツやった人



まず目指したいのは
今の偏差値を**維持**すること



偏差値維持

=

今まで通りの勉強
と置いていない？

	必答問題	選択問題
1年	7月 数と式(I) (集合と命題は除く)	2次関数(最大と最少まで)(I) 場合の数(順列・組合せ)(A) 図形の性質(空間図形は除く)(A)
	11月 数と式(I) (集合と命題を含む) 2次関数(I) (2次不等式は除く)	2次関数(2次不等式まで)(I) 図形と計量(I) 場合の数(順列・組合せ)(A) 整数の性質(n進法は除く)(A) 図形の性質(空間図形は除く)(A)
	1月 数と式(I) (集合と命題を含む) 2次関数(I)	図形と計量(I) 確率(条件付き確率は除く)(A) 整数の性質(A) 図形の性質(A)
2年 数学B	7月 数学I全範囲 数学A(場合の数と確率)	式と証明・高次方程式(II) 図形と方程式(II) 三角関数(II) 数列(漸化式を除く)(B)
	11月 数学I全範囲 数学A(場合の数と確率) 式と証明・高次方程式(II)	図形と方程式(II) 三角関数(II) 微分法(II) 数列(漸化式を除く)(B) ベクトル(空間ベクトルを除く)(B)

2年生から
数I全範囲
+
II B

※2023年度進研模試
出題範囲より

定期テスト・7月・11・1月模試
出題範囲が区切られている=短い



1年生で習う範囲

1年生で習った範囲が全部出題
=暗記だけでは厳しい

“全部 暗記”を卒業!

覚えていない・うろ覚えの
ところはない?
基礎問題はすぐに解ける??

 Point

簡単な問題を
確実に・素早く解けるようにする



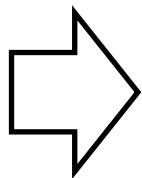
東大合格した
生徒の例

青チャートを見た瞬間、
解法が思いつかない問題は
何度も復習していた

⚠ 注意!



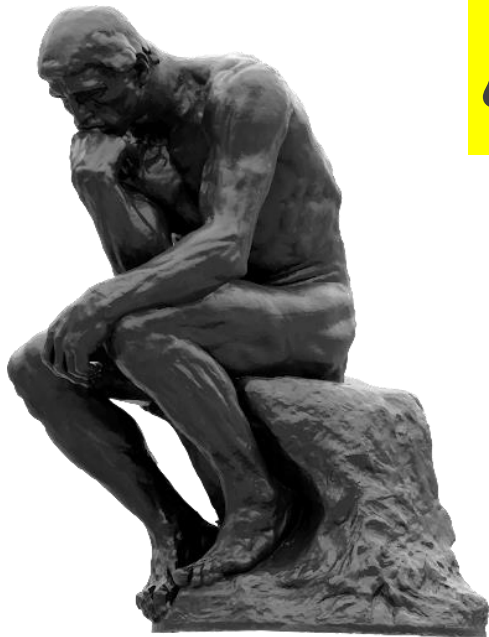
- ・ 難しい問題ばかりやる
- ・ 時間をかけたら解ける



毎日の授業や**宿題**の
やり方から振り返る

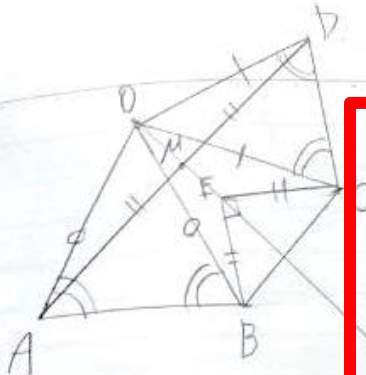
機械にできなくて
人間にしかできないこと

思考すること



問い
「なぜこうなった？」

東大合格した先輩の 復習ノート



✖️を一般的にPKして
 → Miss. 特殊な場合を考慮
 それから①をすらすらNG.

これは図形問題。
 ☆ 図形問題 ← 幾何的考察①
 ベクトル
 複素数の導入。

ベクトルも複素数でいいから。
 としたら直角や一直線上を表現する、ベクトルだと
 新たに定数を等々しなわけはいいから。
 じゃあ、複素数で。

Oを原点とし、A, B, C, Dをそれぞれ $\alpha, \beta, \gamma, \delta$ と表す
 Eを表す。BEはBCを $\frac{1}{\sqrt{2}}$ 回転した $\frac{1}{\sqrt{2}}$ 倍。

$$E = \beta + (\gamma - \beta) \times \frac{1}{\sqrt{2}} \left(\frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{2}}i \right)$$

$$= \beta + \frac{1}{2}(\gamma - \beta)(1 + i)$$
 MはADの中点だから $\frac{\delta + \alpha}{2} = M$ 。
 又、 $OA = OB$ 、 $OC = OD + \gamma$ 。
 $|\alpha| = |\beta|$ 、 $|\gamma| = |\delta|$ 。



POINT

間違えた要因を分析



自分の・言葉で

書いておく

(引き出し化する)

ちょっとした
 計算ミスもどんなミスか
 しっかり記さなければ
 治らない！！

もう一度苦手な分野の確認

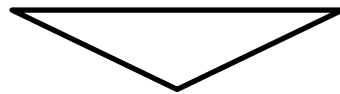
覚えきれていないことはまずinput
テストで思い出せない=**知識として定着していない**

演習をして解き方・パターンを習得する

引き出しを増やすことがpoint

(=暗記ではない!!)

- 宿題をしっかりとこなす
- 自分の苦手を克服する
- 毎日机に向かう



合格への手段であり、目的ではない

やる気が出ません
やりたいことが見つかりません



北海道・全校の
大学ってどれくらいある？

北海道

全国

札幌旭丘高校の昨年合格実績より抜粋

西

静岡大
 信州大（長野）
 奈良女子大（奈良）
 大阪大・大阪教育大
 神戸大（兵庫）
 福知山公立大（兵庫）
 広島大・長崎大
 琉球大（沖縄）

東

弘前大（青森）
 岩手大・秋田大
 東北大（宮城）
 山形大・新潟県立大
 茨城大
 高崎経済大（群馬）
 千葉大・埼玉大
 東京学芸大
 東京外大・
 一橋大（東京）
 都留文科大（山梨）

志望校が
決まってい
ない
迷っている

迷っていい
むしろ

迷ったほうがいい





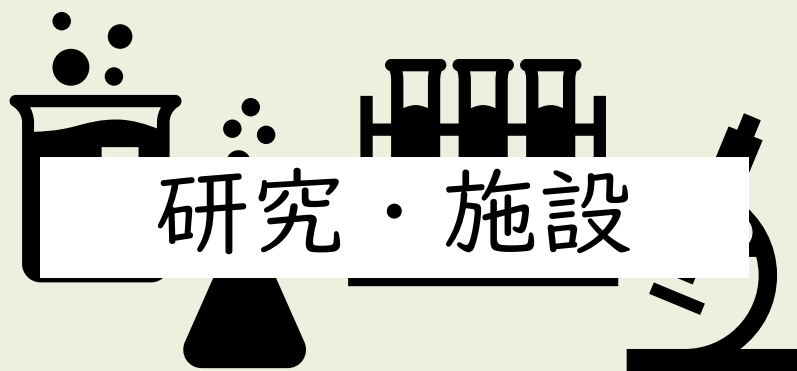
迷うためには**選択肢**が必要



教授



雰囲気



研究・施設

知らない

知っている

やりたい

できる

選択肢

まずは知っている範囲を広げる

一般選抜



総合型選抜・学校推薦型選抜



一般入試でも調査書が評価され、推薦入試でも学力が問われる
調査書の様式も変化し、学力だけでなく高校3年間の成績や活動が重要に

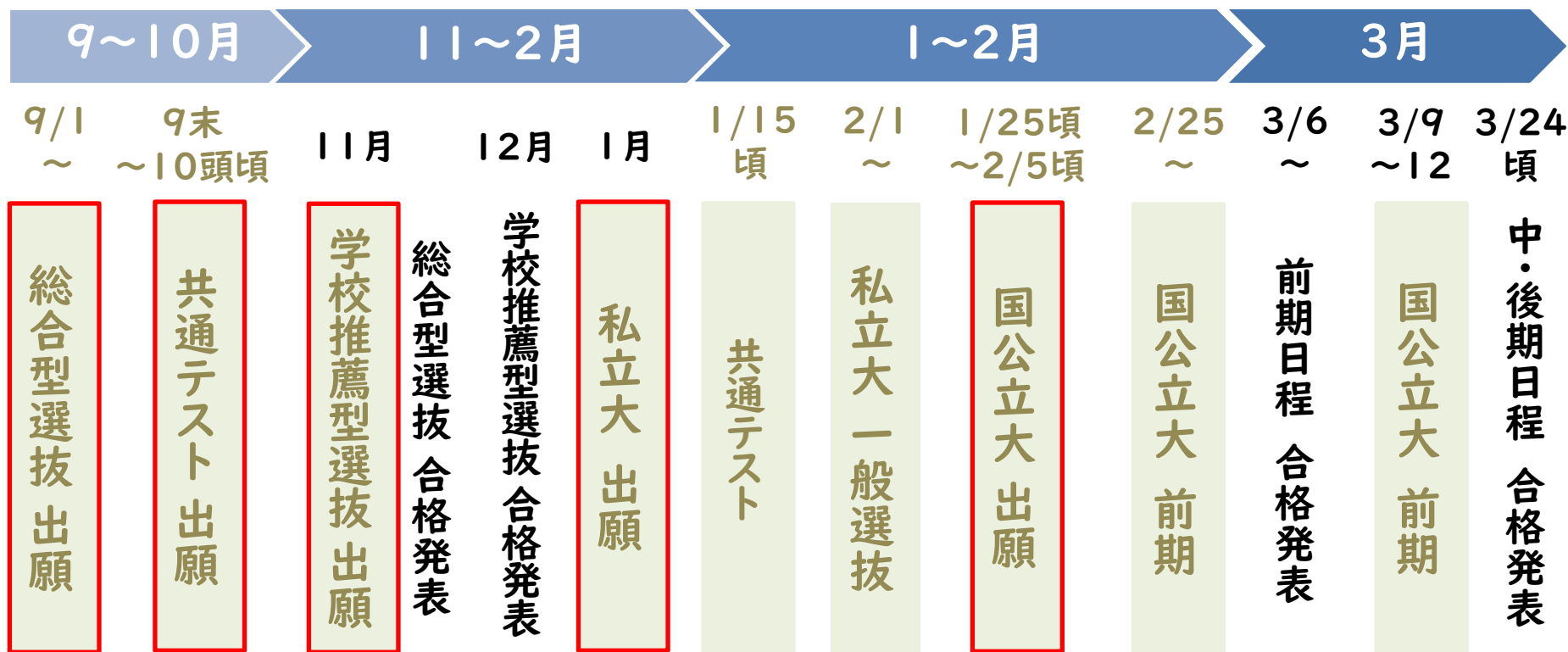
国公立大 入試方式別募集人員比率（2022年度入試）

国立大の後期日程が
 次々と廃止されている。
 募集人員のほとんどが
前期日程



文部科学省「令和4年度国公立大学入学者選抜について」より

	国公立大	私立大
科目数	5教科7・8科目が中心	2～3教科入試が大半
試験内容	共通テスト受験 が必須 個別学力検査(記述式や論述式)	大学の独自試験が中心だが、 共通テストのみや併用など様々。
受験回数	前期/後期/中期の3回	1つの大学で受験機会が多い ・方式別 ・試験自由選択制等 ★同じ大学を複数方式で受験すると受験料が割引になるケースも
受験校数	前期/後期/中期で各1校ずつ	制限なし



3年生の9月から本格的に出願がスタート

1日目		2日目	
2科目受験 9:30～11:40	地理歴史 公民	2科目受験 9:30～11:40	理科
1科目受験 10:40～11:40		1科目受験 10:40～11:40	
13:00～14:30	国語	13:00～14:10	数学①
15:20～16:40	外国語	15:00～16:10	数学②
17:20～18:20	リスニング	17:00～18:00	情報

理科をひとつの試験時間帯で実施

「情報」は2日目の最後の時間帯で実施
(17:00～18:00)

※「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの問題作成の方向性及び試作問題等について」(2022年11月9日)より

地歴公民においては同名の科目を含む出題科目の選択はできない。

	『地理総合、 地理探究』	『歴史総合、 日本史探究』	『歴史総合、 世界史探究』	『地理総合、歴史総合、公共』			『公共、 倫理』	『公共、 政治・経済』	
				「地理総合」 及び 「歴史総合」	「地理総合」 及び 「公共」	「歴史総合」 及び 「公共」			
『地理総合、 地理探究』		○	○	×	×	○	○	○	
『歴史総合、 日本史探究』	○		○	×	○	×	○	○	
『歴史総合、 世界史探究』	○	○		×	○	×	○	○	
『地理総合、 歴史総合、 公共』	「地理総合」 及び 「歴史総合」	×	×	×				○	○
	「地理総合」 及び 「公共」	×	○	○				×	×
	「歴史総合」 及び 「公共」	○	×	×				×	×
『公共、倫理』	○	○	○	○	×	×		×	
『公共、政治・経済』	○	○	○	○	×	×	×		

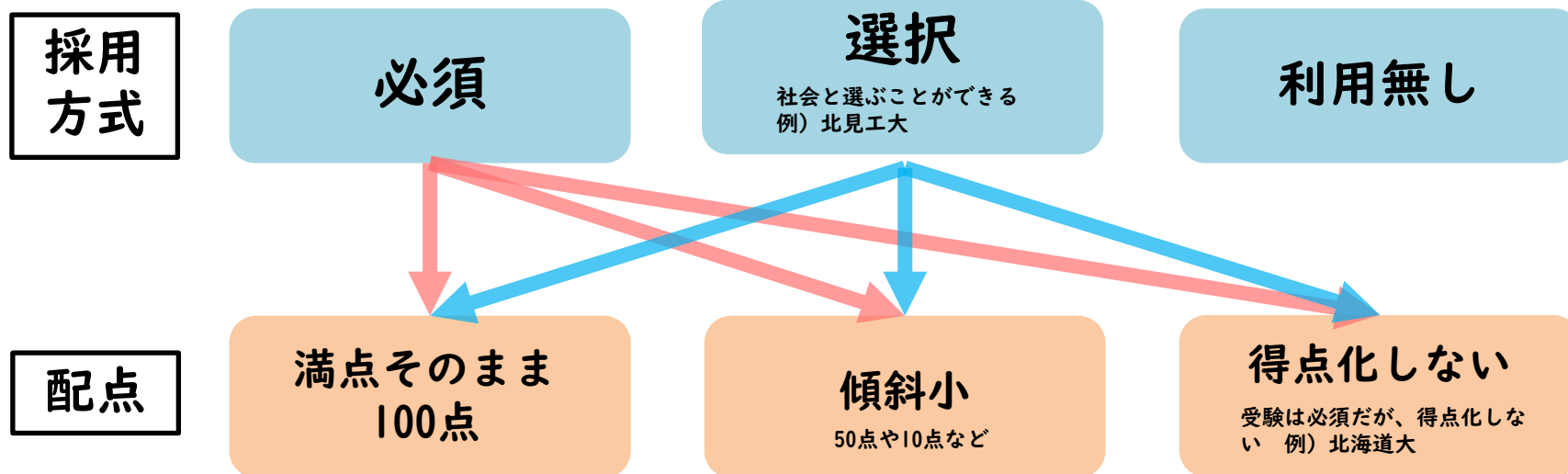
※上記6出題科目のうちから2出題科目を選択する場合は、「○」の組合せから選択でき、「×」の組合せは選択できない。

※「令和7年度大学入学者選抜に係る
大学入学共通テスト実施大綱の予
告」

(2021年7月30日)より

共通テストにおける教科「情報」の扱いは
各大学から2022年度中に公表される予定

予想される国立大学における共通テスト「情報」の取り扱いの方向性とパターン



具体例①北海道大 受験は必須だが、配点はなし。
具体例②北見工大 社会と情報で選択可。(配点は不明)

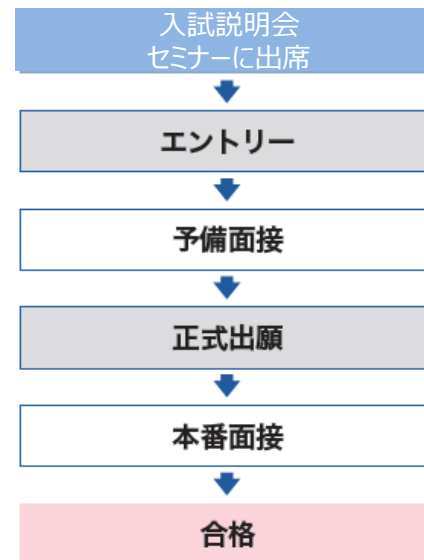
◆将来の目標や学科適正、学習意欲などを総合的に判断する入試

- ・各大学の求める学生像(アドミッションポリシー)に基づいて選考される。

総合型選抜の注意点

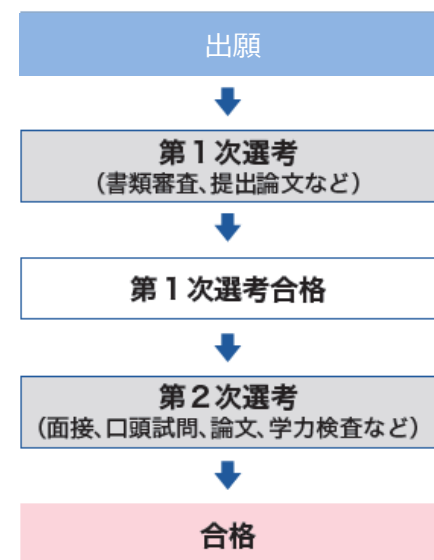
- 面接や面談、実技試験やレポートなど、大学によって独自の選考方法がある。
⇒提出物が多かったり、大学の講義に
⇒参加してレポート作成したりなど。
- 大学によってはオープンキャンパスでエントリーを受け付けたり面接を実施したりするほか、模擬授業への参加を出願条件とすることがある。

対話重視型



入試説明会やオープンキャンパスに参加して、エントリーを行う。面談を通して双方の理解を深め、受験生と大学側が合意したうえで、正式に出願するパターンが多い。

書類・論文重視型



出願時に提出する論文やエッセーと書類で第1次審査を行う。この合格者に対して、論文や面接などの第2次審査を行い、最終的な合否が決定する。

大学の発表資料を必ずご確認ください。

◆勉強やスポーツ、課外活動など高校3年間の活動を評価する入試

- ・出願条件は「一定値以上の評定平均値+学校長の推薦」が主流。
- ・試験内容は「書類審査」「面接」「小論文」「学科試験」などがある

学校推薦型選抜の種類

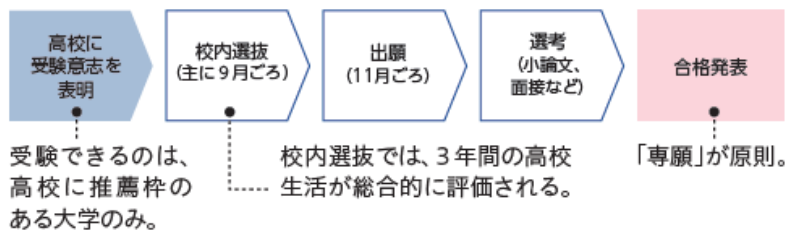
公募制推薦

- 大学が提示した出願条件を満たす人が対象。
- 学校長の推薦に基づいて、評定平均や活動履歴、面接や小論文、学力検査等を総合して合否を判定するもの。

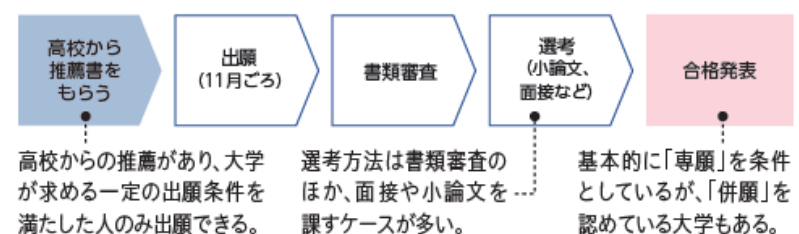
指定校推薦

- 大学が指定した高校の生徒を対象に行われるもの。→校内選考を経ての出願。
- 推薦されればほぼ合格できる場合と、必ずしも全員合格しない場合とがある。
- 書類審査や面接で合否を判定する場合はほとんど。

指定校推薦



公募制推薦



<フロンティア入試Type I>

出願書類（調査書、個人評価書、自己推薦書、諸活動の記録等）により第1次選考を行う。高等学校等における多様な活動を、各募集単位が定める評価軸に沿って高校教諭が評価（コンピテンシー評価）し、その結果を選考に用いる。第2次選考は、課題論文、面接（口頭試問）等を課す。また、令和5（2023）年度大学入学共通テストの結果を利用する。

<フロンティア入試Type II>

従来のものより作成負担を軽減した出願書類により第1次選考を行う。第2次選考は、適性試験（各募集単位が指定する数学・理科に係る分野）、面接（口頭試問）等を課し、基礎的な知識・技能と共に、思考力・表現力を評価する。

令和4年度 北海道大学入学試験実施状況表（フロンティア入試）

学部・学科等	募集人員	志願者数	倍率	第1次選考 合格者数	第2次選考		最終 合格者数	入学者数		
					受験者数	合格者数				
理学部地球惑星科学科	5	15 (6)	3.0	9 (3)	9 (3)	5 (2)	4 (1)	4 (1)		
Type I 医学部	医 学 科	5	9 (5)	1.8	9 (5)	9 (5)	5 (3)	0 (0)	0 (0)	
	保健学科	看護学専攻	7	16 (15)	2.3	10 (10)	10 (10)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
		放射線技術科学専攻	7	12 (6)	1.7	9 (5)	9 (5)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
		検査技術科学専攻	10	5 (3)	0.5	4 (2)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		理学療法学専攻	4	5 (5)	1.3	5 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		作業療法学専攻	7	2 (2)	0.3	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	歯 学 部	5	5 (1)	1.0	5 (1)	5 (1)	5 (1)	1 (0)	1 (0)	
工学部	応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	4	— —	—	— —	— —	— —	— —	— —	
	環境社会工学科 (社会基盤学コース)	4	3 (2)	0.8	2 (1)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
水産学部	20	45 (9)	2.3	41 (9)	41 (9)	23 (6)	6 (2)	6 (2)		
小 計		78	117 (54)	1.5	96 (43)	96 (43)	44 (17)	16 (7)	16 (7)	
Type II	理学部	数 学 科	13	50 (6)	3.8	50 (6)	50 (6)	13 (2)	13 (2)	13 (2)
		物 理 学 科	14	22 (1)	1.6	22 (1)	22 (1)	10 (0)	10 (0)	10 (0)
		化 学 科	11	25 (4)	2.3	25 (4)	25 (4)	11 (1)	11 (1)	11 (1)
		生物科学科 (高分子機能学専攻分野)	3	6 (3)	2.0	6 (3)	6 (3)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
	工学部	応用理工系学科 (応用物理工学コース)	15	49 (5)	3.3	49 (5)	49 (5)	15 (1)	15 (1)	15 (1)
		機械知能工学科	5	18 (0)	3.6	12 (0)	11 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)
		環境社会工学科 (環境工学コース)	5	31 (12)	6.2	31 (12)	31 (12)	5 (1)	5 (1)	5 (1)
小 計		66	201 (31)	3.0	195 (31)	194 (31)	62 (6)	62 (6)	62 (6)	
計		144	318 (85)	2.2	291 (74)	290 (74)	106 (23)	78 (13)	78 (13)	

() 内は女子で内数



合格者

- ✓ この大学 “**ならでは感**” がある
- ✓ やりたいことと**社会課題**をつなげられている
- ✓ 現状の**課題**が言える



不合格者


- ✓ 大学の**環境の良さ**を語る
- ✓ 入学への**あこがれ**を語る
- ✓ やりたいことが**あいまい**

名詞

ではなくて

動詞

で考える



将来どんな仕事がしたい？

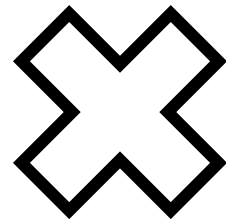
×：看護師・弁護士

○：コミュニケーションをして
悩みを手助けしたい

○：子供たちによりいい気持で
学校に通ってもらう

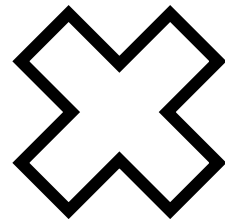
動詞

動詞



名詞

コミュニケーション
をして
悩みを手助けしたい



医療
教育
ビジネス
キャリア